

大地に浴す

ー「アーシング」を用いて地球を感じる温泉・スパの計画ー

かつてあった岩山に、採石という人工的な操作を加えた地形で、石や温泉、自然といった地球の恵みと人々の発展に感謝し、広大な大地に裸向き合い心から浴す。そんな神秘的な行為を作る建築を提案する。

1. 設計背景

○感謝する対象の変化



大地の恵み



テクノロジー



日々生活が発展する現在、過去の生活のように水、食料、自然といった地球の恵みに触れにくくなっている。そこで改めて地球と向き合い、その恵みと触れ合える建築を計画する。

2. アーシングとは

アーシングとは、大地や水などの自然に素足や素手といった肌で直接触れることで、地球とつながることである。自然浴の手法とされており、リラックスできるなどの効果がある。大地に触れる方法として、アーシングを用いる。



様々なアーシング



アーシングの様子



3. 提案

地球との関わりが減りつつある現代の生活で、入浴する文化は今でも継承されている。入浴することは、大地から湧き出た水に裸で触れる神秘的な行為である。そんな入浴の機会に、広大な自然に触れ、その土地の自然に直接肌で触れることのできるスパ・温泉施設を建設する。大地から湧き出た温泉に浸かる最上級のアーシングを行う施設を提案する。



4. 対象敷地

対象敷地は、茨城県笠間市石切山脈にある前山採掘場跡である。石切山脈は、東西約10km、南北約5kmに及ぶ岩盤帯で、明治32年から採掘が続く日本最大級の採掘地である。前山採掘場は、採石の過程で湧き出した湧水によって、中央に湖が出来た自然豊かな土地である。その中でも敷地は採石の過程で窪地となった部分である。



敷地周辺写真

採掘の過程でできた湖

正面から見た敷地

5. 地域と採掘場、提案の関わり



○案内図と現状

対象敷地の前山採掘場跡の周りには、同じく採掘作業が行われている採掘場があり最寄りには奥山採掘場という現役の採掘場が、北側に位置する。

採掘場の他にも石の加工作業を行う加工場が多くあり、観光客も作業を見学することができるような取り組みも行われており、笠間市の取り組みとして稲田石で市全体を盛り上げるような活動が行われており、石の100年会館と呼ばれる石の施設もある。



稲田石

採石の様子

加工の様子

茨城県笠間市稲田地区で採掘される「稲田石」は、約6000万年前に地下深くでマグマが固まってできた花崗岩である。「白い貴婦人」と呼ばれ、石材として数々の建築物に使用されている。現在も前山採掘場の上にある奥山採掘場では採掘作業が行われており、そこで採掘された稲田石を建物全体に利用することによって、現地の石に触れるアーシングを行う。また、加工方法による違いによって異なる感じ方や使われ方ができる。

7. 設計手法

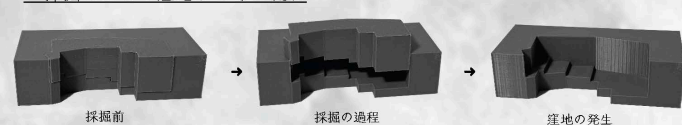
敷地の選定と形の定義

採石方法を利用する

敷地に馴染ませ、採石の手法を取り入れる

①採掘された土地のボリュームの復元

・採掘によって窪地ができる流れ



採掘前

採掘の過程

窪地の発生

・採掘前を復元する流れ



現状の敷地

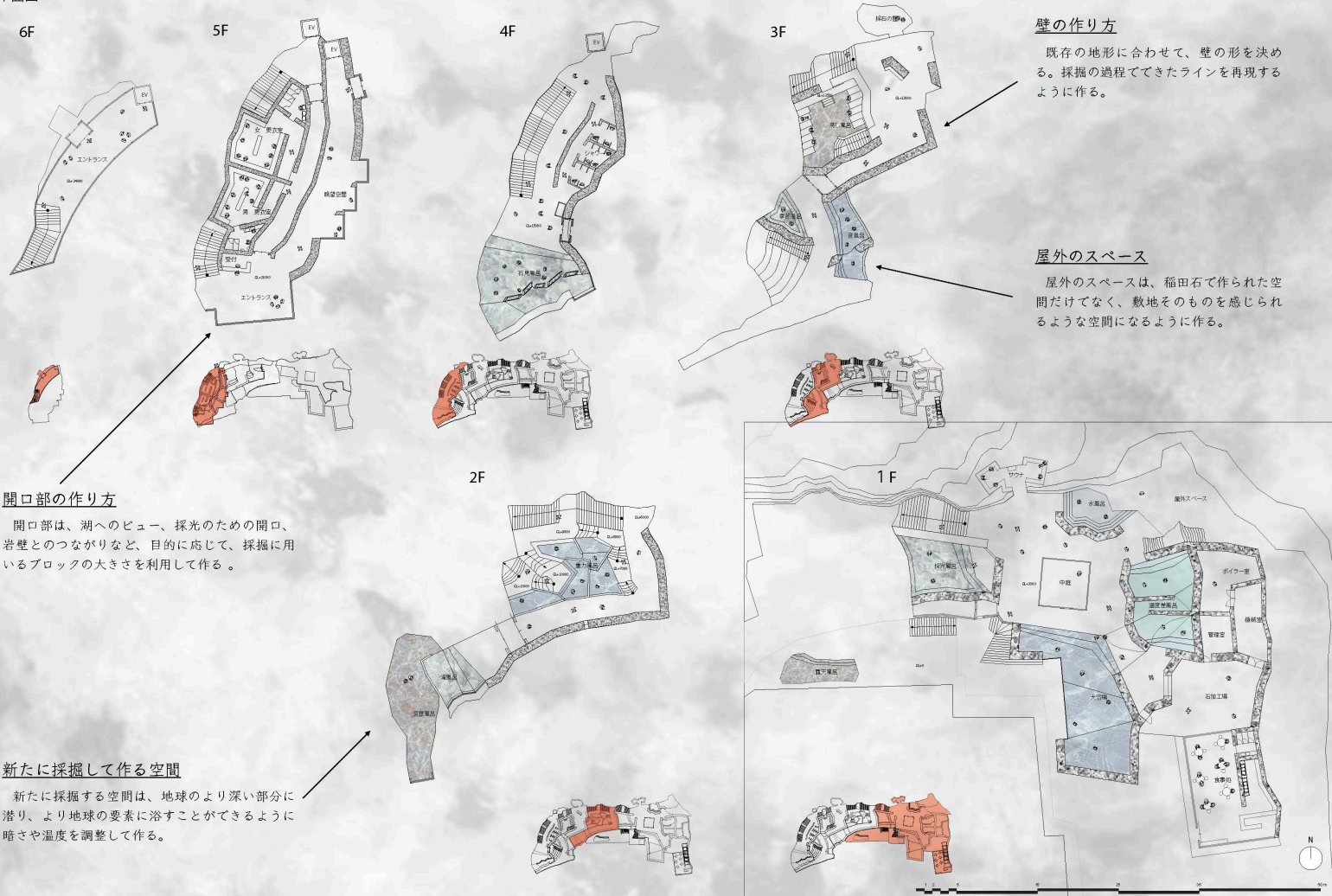
地層に合わせて壁を立てる

地層を重ねるように積み重ねる

前山採掘場の中で選定した敷地では、採掘により石が切り出されたことによって、石が切り出された部分が窪地となり、周りの岩壁に比べて凹んでいるように見える。ここに復元の操作を行う。

○敷地の要素を取り入れた平面プラン

各階平面図



開口部の作り方

開口部は、湖へのビュー、採光のための開口、岩壁とのつながりなど、目的に応じて、採掘に用いるブロックの大きさを利用して作る。

新たに採掘して作る空間

新たに採掘する空間は、地球のより深い部分に潜り、より地球の要素に溶すことができるように暗さや温度を調整して作る。

壁の作り方

既存の地形に合わせて、壁の形を決める。採掘の過程でできたラインを再現するように作る。

屋外のスペース

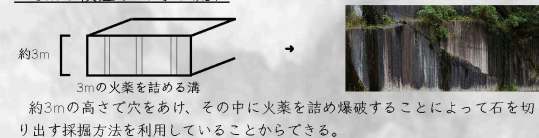
屋外のスペースは、稲田石で作られた空間だけでなく、敷地そのものを感じられるような空間になるように作る。

②前山採掘場の採掘方法

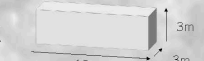
前山採掘場は、採掘の跡を残しており、高さ約3mごとに段差ができている。



・3mの段差ができる流れ

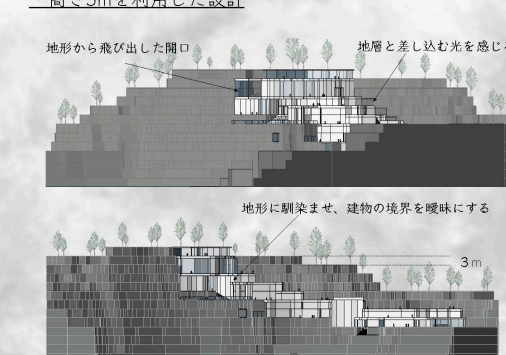


・採掘に用いる石のブロックのサイズ

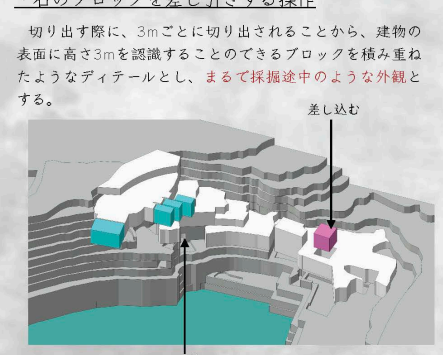


③採掘方法からの設計手法

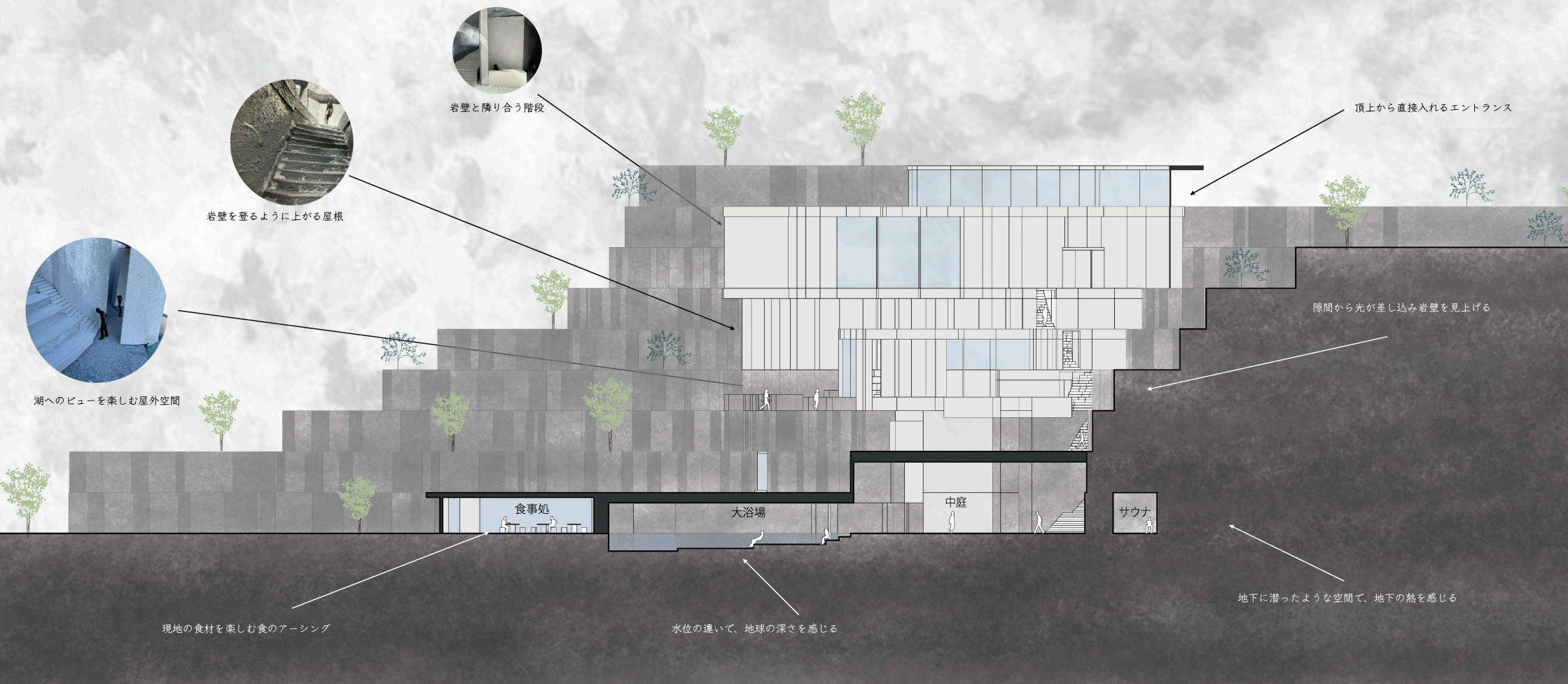
・高さ3mを利用した設計



・石のブロックを差し引きする操作



○敷地の要素を取り入れた断面プラン



7. 稲田石の岩壁や床を感じるアーシング

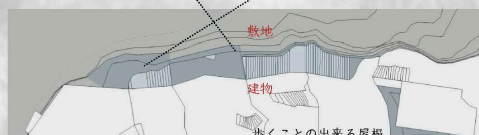
○敷地と建物の隙間から見上げる岩壁



岩壁を見上げた時の様子

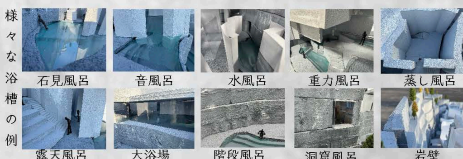
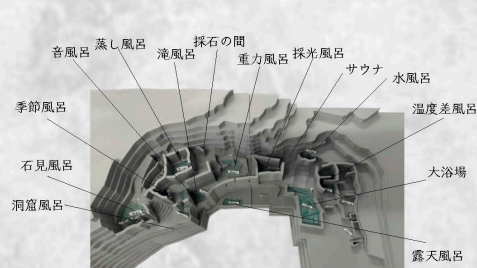
建物と岩壁の間を見下ろした空間

建物と岩壁の間に隙間を設けることで、採光を取り入れ、石を感じる空間にまた、屋根の上を歩くこともでき、湖や岩壁を近くで見ることができる。



8. 様々な地球の要素を感じるアーシング

○地球の要素を感じる14種の浴槽と石の空間



9. 敷地全体を歩き巡ることで行うアーシング

○建物全体、地形全体を全身で感じる。

広大な自然に触れ、その土地の自然に直接肌で触れることのできるスパ・温泉施設で、大地から湧き出た温泉に浸かる最上級のアーシングを行うことで、改めて地球のありがたさやその存在に気づき、人々の発展と地球に感謝をする。そんな神秘的な空間を建築と、空間の広大な自然と石によって作り出す。

・浴槽以外のアーシング



食事処

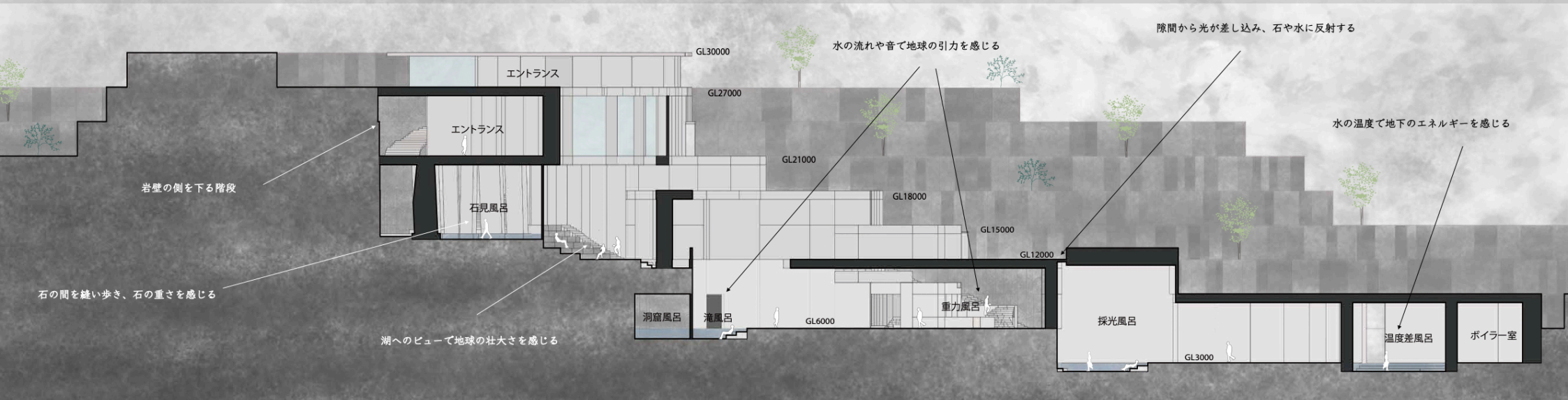
歩いて登る屋根

温泉に入るといふ行為は、裸で大地から湧き出た温泉に全身で浸かるという最上級のアーシングであると考えられる。そのアーシングの効果をより高めるために自然の要素をうまく取り入れられるような設計を行う。

・模型写真



○アーシングの効果をもつる浴槽と空間



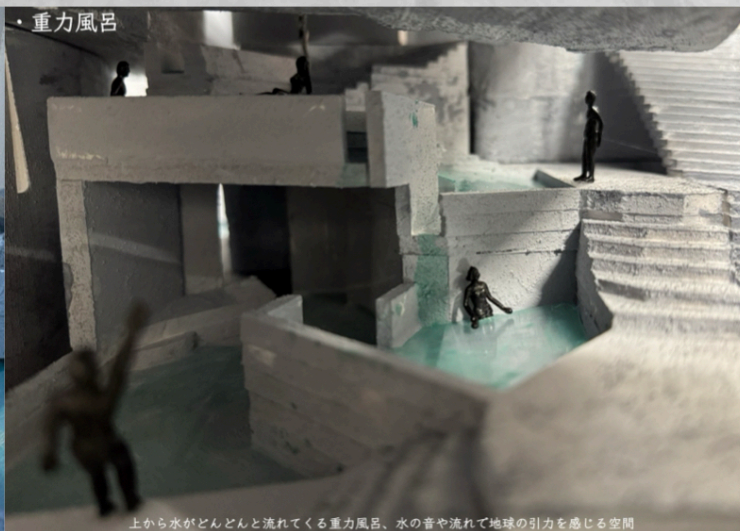
10. 代表的な空間の紹介

・石見風呂



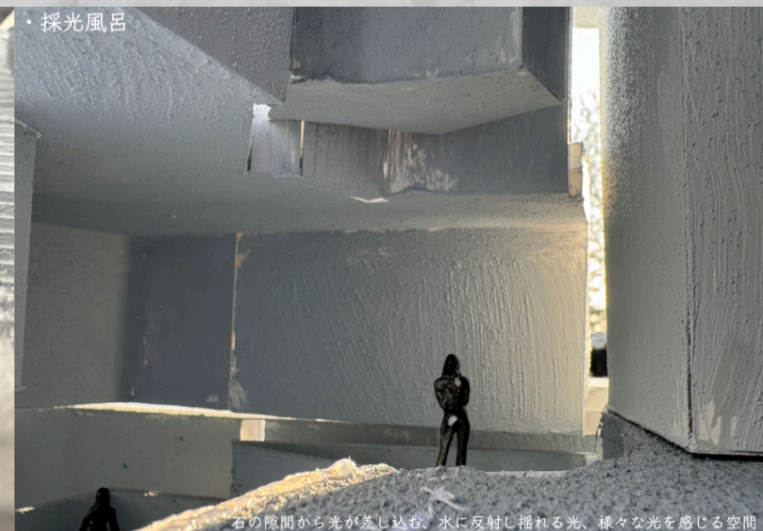
採掘の過程で削られた石。水面に反射する石、様々な石に触れる

・重力風呂



上から水がどんと流れてくる重力風呂、水の音や流れて地球の引力を感じる空間

・採光風呂



石の隙間から光が差し込む。水に反射し揺れる光、様々な光を感じる空間



・洞窟風呂



・音風呂



・エントランス



・食事処